

鑄込み工程

有害ガス

健康障害防止対策	基本的方策	具体的方法	参考（関係法規）
作業環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有機質の粘結剤を用いた鑄型では、鑄込むと同時に一酸化炭素が発生するため、局所排気装置の設備、当該箇所の隔離等の対策を講ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑄込み作業場所にはレシーバー式キャノピー型、外付け式スロット型等のフードの局所排気装置を設置する。 ○ 鑄込み作業を自動化する。 ○ 鑄込み作業場所を隔離する。 ○ 徐冷場所を隔離する。 ○ 徐冷コンベアにトンネル型のカバーを設け、内部を排気する。 	<p>(イ) ガス、蒸気等を発散する有害な作業場においては、その原因を除去するため、代替物の使用、作業の方法又は機械等の改善等必要な措置を講ずる。 (安衛則第 576 条)</p> <p>(ロ) ガス、蒸気等を発散する屋内作業場においては、当該屋内作業場の空気中のガス、蒸気等の含有濃度が有害な程度とならないようにするため、発散源を密閉する設備、局所排気装置又は全体換気装置を設ける等必要な措置を講ずる。 (安衛則第 577 条)</p>
健康障害防止対策	参 考（関係法規）		
保護具の備付け	ガス、蒸気等を発散する有害な場所における業務においては、適切な呼吸用保護具を備える。 (安衛則第 593 条)		